

開催日	平成27年6月25日（木）10:00～12:00			
会場	四谷特別出張所 会議室			
出席者	委員	4名	その他	まち歩きボランティア 1名 特別出張所職員 2名

主なテーマ

- 1 7月18日（土）開催のまち歩きについて
- 2 9月19日（土）開催のまち歩きについて
- 3 冊子作りについて
- 4 その他

1. 7月18日（土）開催のまち歩きについて

【文化施設パート1】

集合～事前準備等

- ・集合：10時 消防博物館1階入口
※丸正正面の自動ドア（角ではなく新宿通り沿い）
- ・暑いので消防博物館の中に入ってもらう。
⇒リーダーが事前に消防博物館に了解を取る。
- ・10～15名ずつ2班に分かれる。
- ・班分け後に吊り下げ名札を配布する。名札の色（2色）で班分けする。
- ・旗持ち：清水委員、他1名
- ・旗にも2色の目印を付ける。
- ・交通整理：高野委員、有賀委員、中井氏（ボランティア）
- ・列の真ん中と後ろにスタッフが付き、進み方が速ければ旗持ちに声掛けをする。
- ・後ろの班が離れないよう、前の班はペースを調整する。
- ・事務局がボランティアの名札か腕章を作成する。
- ・場所がないため、茶話会は実施しない。

まち歩き順路

消防博物館～文学座～民音（11時）～絵画館（12時過ぎ）

- ・文学座 中を見学（30分）
- ・民音 展示見学、ピアノ演奏、オルゴール見学
※絵画館に行かない参加者は、終了後解散
- ・絵画館 入館料がかかる為中は自由観覧
※ガイドが頼めなければリーダーがガイドする。
- ・スポットガイド
清水委員（二位局屋敷跡の話等）
高野委員（外苑東通り、曙橋、Nabori、ご成婚馬車の話等）
その他の委員から申し出があれば、当日朝打ち合わせる。（1人3分程度）

2. 9月19日（土）開催のまち歩きについて

【文化施設パート2】

- ・韓国文化院の見学については、依頼はするが土曜日の為断られる可能性もある。
- ・大久保と違う「韓国」を見てもらう。
- ・集合：10時 消防博物館1階入口
- ・7階に上がり、その後施設見学。
- ・韓国文化院に寄れば30分程度見学する。
- ・おもちゃ美術館
チケット購入後再入場可なので、茶話会後に再入場してもらう。
- ・四谷ひろばで茶話会が出来るかどうか有賀委員が確認する。
- ・銘菓を次回会議で話し合う。

3. 冊子作りについて

- ・まち歩き手帖第3巻のテーマを決める。
- ・予算は9万5千円。
- ・1日四谷を歩くガイド（午前～昼～午後 または 昼～夕食）
- ・四谷で長く滞在する人やオリンピックで訪問する人にも役立つ。
- ・今までの6コースの隣接エリアを合体させ、半日遊べるコースを作る。
- ・推奨する飲食、喫茶、おやつ、土産、食事、飲み処等を提案する。
- ・店については一定の基準を設けて選定する。
- ・秋に基になる原稿を完成させ、年明けにイラストを作成し、2～3月に印刷する。
- ・次回会議でリーダーがコースを提案するが、各委員にも提案してほしい。
- ・店だけでなく、消防博物館7階展望室、四谷ひろばの多世代交流サロンなど、休憩できる場所を提案するのもいい。
- ・次回会議で出来るだけ多くの案を出す。（宿題）

4. その他

（リーダー作成の甲州街道についての資料が会議で配布された）※欠席者には郵送

- ・委員は各自資料を読み、参考にしたい。
- ・まち歩きの基礎資料として「メモ書き」を蓄積することが大事である。
- ・次回以降、まち歩きの準備の際毎回リーダーが資料を配布する。

新規企画について

- ・まちの古い写真を集めるという企画はどうか。
- ・「まちの記憶」をまち歩きに活かす。
- ・小学校の通学路を写真で再現する。

- 昔の四谷を今の子どもたちに見せる。
 - 今と昔を比べる。
 - いい写真を町連で紹介し、「アルバムを作るので写真を持って来てください」と呼びかける。
 - 観光まちづくりのPRになる。
 - お宝さがしとコラボしてはどうか。
-
- 四谷の語り部＝わが町四谷を語れるスポットガイドはハードルが高いが、「自分の写真について語ってください」と頼めば話してくれるのではないかな。
 - 観光スポットをガイドするのではなく、自分の思い出を話してもらおう。
 - 自分の写真には物語があり、記憶が共有できると楽しい。まち歩きに対する印象が変わるのではないかな。

【次回以降の日程】

会議 平成27年7月28日（火）14時～ 四谷特別出張所会議室

※8月は休会とする